

平成 29 年度 日本看護技術学会 評議員会議事録

日時：平成 29 年 10 月 13 日（金）18:00～19:20

会場：日本赤十字看護大学 206 室（第 3 会場）

出席者：

大久保暢子、岡田 淳子、小坂橋喜久代、佐伯 由香、茂野香おる、篠崎恵美子、
城生 弘美、須賀 京子、高橋 有里、武内 和子、武田 利明、徳永なみじ、
本庄 恵子、水戸 優子、箕浦 哲嗣、吉田みつ子、渡邊 順子

以上 17 名

議事進行：

武田 利明（理事長）

議事に先立ち出席者 17 名、委任状の提出が 22 名で合計 39 名となり、会則第 18 条により本評議員会が成立していることを確認した。

議題：

1. 報告

1) 平成 29 年度理事会報告

高橋理事から本年度第 1 回から第 4 回の理事会議事録の報告があった。

2) 庶務報告

高橋理事から第 6 期役員、平成 29 年 8 月 31 日現在の会員状況の報告があった。また、今年度から事務局を㈱春恒社に一本化したこと、入会申込書の評議員が署名する欄を正会員署名欄に変更したこと、理事会で平成 30 年度から一般社団法人へ移行する準備を進めていることの報告があった。

3) 平成 29 年度上半期事業経過報告

(1) 第 16 回学術集会

本庄会長より開催にあたり挨拶が述べられた。

(2) 学会誌編集委員会

佐伯委員長より論文の公開状況、投稿および査読状況の報告があった。また、投稿規定の見直しを進めていることの報告があった。

(3) 研究活動推進委員会

水戸委員長より以下報告があった。

① 学術集会大会賞ならびに座長推薦演題の選出

第 15 回学術集会における大会賞の表彰を行う。

第 16 回学術集会における大会賞ならびに座長推薦演題の選出を行う。

② 卒業研究交流セッション優秀賞の選出

第 15 回学術集会における卒業研究交流セッションの優秀賞の表彰を行う。

第 16 回学術集会における卒業研究交流セッションの優秀賞を選出する。

③ 第 16 回学術集会における座長推薦演題に対する論文投稿の依頼

- ④ 平成 30 年度研究助成の応募と選考
- ⑤ 看護実践者や若手研究者による研究活動が活発になる事業の検討

(4) 技術研究成果検討委員会

大久保委員長より以下の報告があった。

研究成果の蓄積と公表として各研究班が交流セッション、口演を第 16 回学術集会以で開催する。成果の普及の促進として冊子 Q&A を作成し、既に Q&A を作成している班は、ブラッシュアップを継続する。学会ホームページ、Facebook への掲載もタイムリーに行う。また、第 6 期終了後(3 年後)には冊子を他学会や国内医療施設に配布できるように準備を進める。

診療報酬化の一層の推進：

- ① 5 月に背面開放座位療法で医療技術評価提案書を提出した。
- ② 7 月に厚生労働省によるヒヤリングを受けた。ヒヤリングの際に、リハビリテーション学会や集中治療学会等と連携を取り、申請していく方略が提案された。
- ③ 脳血管疾患患者の急性期リハビリテーションに関わる専門職 (Dr.・PT・Ns.) による意見交換交流会を開催予定。(11 月 12 日 (日) 12:00-16:00 聖路加国際大学)
- ④ 診療報酬化への対策に向けて勉強会開催を計画している。今までの診療報酬化に至った技術 (例えば、褥瘡ケア) の保険適用に至ったプロセスや取り組み内容、戦略などを把握する。

続いて、看保連の平成 29 年度の事業計画、平成 29 年度の研究班の活動計画と進捗状況について報告された。

(5) 広報委員会

藤井委員長欠席のため、高橋理事から代理報告があった。第 3 巻 1 号を平成 29 年 4 月 20 日に、第 3 巻 2 号を平成 29 年 8 月 25 日に発行した。第 3 巻 3 号を平成 29 年 12 月下旬から平成 30 年 1 月上旬頃に発行を予定している。

(6) 看護系学会関連団体との連携

高橋理事から以下の報告があった。

平成 29 年 6 月 28 日に日本赤十字看護大学で日本看護系学会協議会社員総会が開催された。本会からは武田理事長が出席した。総会後には講演が行われた。

平成 29 年 7 月 24 日、日本医療安全調査機構の医療事故調査・支援センターより、点滴管理に関する事故事例の個別調査部会における部会員の推薦依頼があり、評議員の中から佐々木 新介氏 (岡山県立大学保健福祉学部看護学科) を推薦した。

(7) 第 17 回 (平成 30 年度) 学術集会について

高橋理事から準備状況について報告があった。

- 1) 平成 28 年度事業および会計について
 - (1) 平成 28 年度事業報告
高橋理事から平成 28 年度事業報告書が提示され、異議なく承認された。
 - (2) 平成 28 年度会計報告
篠崎理事から平成 28 年度収支決算書について説明され、続いて小板橋監事から川嶋監事と連名の監査報告書が提示された。異議なく承認された。
- 2) 平成 28 年度監査後の平成 29 年度予算額修正について
篠崎理事から平成 28 年度監査後の平成 29 年度修正予算案について説明され、異議なく承認された。
- 3) 平成 30 年度事業計画案および予算案について
高橋理事から平成 30 年度事業計画案が提示された。続いて篠崎理事から平成 30 年度予算案が提示された。それぞれ異議なく承認された。
- 4) 法人化に向けての準備
渡邊副理事長から一般社団法人へ移行するための準備状況と、定款原案について説明がなされた。本年 10 月 10 日締め切りで定款原案についてパブリックコメントを募集したが、特段の異論はなかった。これについては軽微な文言、体裁の修正は理事会で変更可として承認し、総会に諮ることとした。
- 5) 第 18 回（平成 31 年度）学術集会会長の選出について
理事会の承認を経て、武田理事長より上野栄一先生（福井大学医学部看護学科）が推薦され、承認した。
- 6) その他
 - ・ 名誉会員推薦について
渡邊副理事長から川嶋みどり先生が推薦され、承認された。
 - ・ ホームページについて
箕浦評議員から学会ホームページのセキュリティ面での脆弱性が指摘された。理事会で継続審議とした。

以上